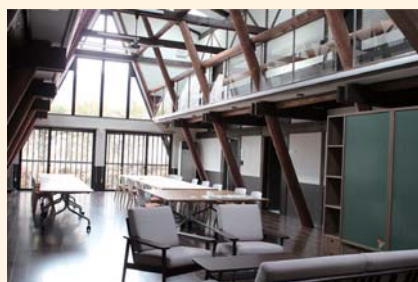


平成27年 富士見町重大ニュース

- | | |
|---------------------------------|---|
| ① 富士見森のオフィス (楽山荘) オープン (12月12日) | 地域活性化の一環としてテレワークタウン構想を進めていますが、本年度サテライトオフィスとして「富士見森のオフィス」が完成し、入居企業・地域住民・関係者が集まりオープニングセレモニーを行いました。 |
| ② 坂上遺跡出土の土偶が国重要文化財に指定される (9月4日) | 坂上遺跡出土の土偶が9月4日に国の重要文化財に指定され、記念イベントなどを実施しました。 |
| ③ 町議会議員選挙 (4月26日) | 富士見町議会議員選挙は定数11名に対し13名の立候補があり、8年ぶりの選挙戦となりました。4名の新人議員が誕生しました。 |
| ④ パノラマスキー場施設貸付事業起債の全額繰上償還 (12月) | 平成14、15年度に上下分離方式により町がパノラマスキー場の資産の買取りに要した起債28.84億円の借入金残高について、減債基金の取り崩しにより成27年度中に一括全額返済するための議案が議決されました。 |
| ⑤ 八ヶ岳定住自立圏協定 (7月1日) | かねてより八ヶ岳観光圏として連携している山梨県北杜市、原村と共に、定住人口の確保と地域活性化を図る目的で八ヶ岳定住自立圏の形成に関する協定を締結しました。 |
| ⑥ 教育委員会新体制スタート (4月1日) | 4月より新教育委員会制度の下、脇坂隆夫新教育長が就任し「教育は感動、感謝、感化」をモットーに、人・地域をつなげながら「教育のまち」「子育てのまち」「学び続けるまち」富士見の構想を進めます。 |
| ⑦ 第5次富士見町総合計画の策定 (3月31日) | 町民のみならず、有識者等の英知を結集し、向こう8年間の総合計画を完成させました。まち・ひと・しごと総合戦略との整合を図りました。基本理念は「改革と継続」です。 |
| ⑧ 新たな農業構想スタート (4月1日) | レタス100ha構想、カシス特産化構想、ワインバレー構想が本格的にスタートしました。また、大手民間企業が最新型水耕栽培で生産を開始しました。これらは雇用・経済効果を生む新たな農業モデルとしても期待されます。 |
| ⑨ 図書館貸出数17年連続日本一を達成 (年間) | 同規模の自治体図書館における町民一人あたりの年間貸出冊数が、17年連続で日本一となりました。 |
| ⑩ 富士見町まち・ひと・しごと創生総合戦略 (11月) | 人口減少に歯止めをかけ、将来にわたり活力ある社会を維持するため、「富士見町まち・ひと・しごと創生総合戦略」案がまとまり、5項目の基本目標と具体的施策を示しました。今後、実現に向けて具体的事業に取り組みます。 |

※左欄番号は順位ではありません。



① 富士見森のオフィスオープン



② 祝 国重文指定
坂上遺跡出土の土偶



⑤ 八ヶ岳定住自立圏協定締結



⑥ 脇坂新教育長就任



⑦ 第5次富士見町総合計画策定



⑧ 新たな農業構想スタート